

科目名称	成人看護学Ⅳ（慢性期看護）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	1	30
担当教員	島田 美鈴	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

慢性期看護では、慢性疾患の特徴や疾患を抱えて生きる人への看護における知識・技術について、慢性疾患を有する人の事例をとおして、看護に必要な知識・技術を TBL 等のアクティブラーニングを活用して学ぶ。

【2】学習目標

- 慢性疾患の特性および慢性疾患を抱えて生きる成人の特徴を理解することができる
- 代表的な慢性疾患を抱えて生きる成人期にある人の事例を通して、病気の悪化予防、セルフケア、仕事・家庭生活との両立をめざす看護方法を学ぶ（治療を継続するための生活調整、社会資源の活用、他職種連携を含む）

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	授業ガイダンス:授業の進め方(TBLによる授業展開の説明)、グループ編成(ミニテスト)	講義、ミニテスト
2	慢性疾患を抱えて生きる成人の理解と援助方法	講義
3	内部環境調節障害をもつ人の事例学習:腎不全	グループワーク(TBL)
4		
5		
6		
7		
8		
9	がん看護	講義
10	造血機能障害をもつ人の事例学習:血液がん	グループワーク(TBL)
11		
12		
13		
14		
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験(ミニテスト含む)50%、演習(グループ討議含む)とレポート等 50%の割合で評価する

【6】教科書

鈴木志津枝・藤田佐和 成人看護学「慢性期看護論」第3版（ヌーヴェルヒロカワ）2020

【7】参考書

解剖学、生理学、病態学のテキスト
『病気が見える』シリーズ、メディックメディア

【8】受講生へのメッセージ

本科目では、TBL 学習を活用し、学生自ら学ぶ体験型・参加型の授業展開です。主体的に学ぶことを身につけられるよう積極的に授業に参加してください。事例学習では人体の構造・機能および臨床病態学での学習内容の予習・復習が必要です。